大好きな街応援します

昭和信用金庫は設立以来、事業と暮らしの資金を安定的に供給し、地域金融の円滑化に努めることにより、信用金庫としての社会的役割を果たしてまいりました。

創業・新事業や事業の成長段階における支援をはじめ、経営改善や事業再生、業種転換や事業承継等の経営課題の解決に向けて取り組んでいます。また、個人のお客さまの生活向上など、それぞれのライフステージにおける支援・提案を行っています。

さらに地域社会の一員として、イベントや行事などさまざまな方面に参画して地域との共存共栄を図り、昭和信用金庫は「大好きな街」を応援しています。

金融円滑化への取組み

当金庫は、地域における金融の円滑化を図ることを使命として、地域社会の発展に貢献しています。小口多数取引を貸出運営の原則とし、中小企業・個人事業者と地元住民の金融機関として、良質な資金を安定的に供給することが当金庫のもっとも重要な役割です。

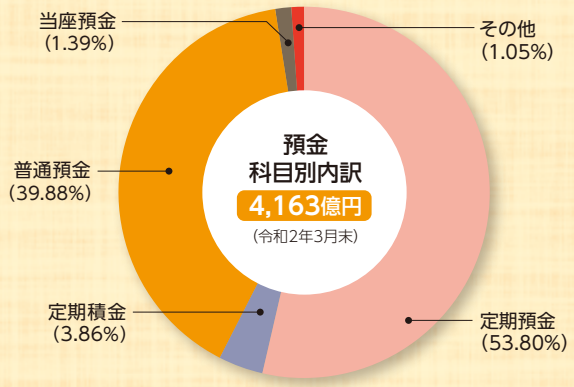
中小企業・個人事業者および個人のお客さまに必要な資金を安定的に供給するため、「金融円滑化のための基本方針」と「金融円滑化管理規程」等を定めるなど、金融仲介機能の発揮に向けて態勢を整備しています。

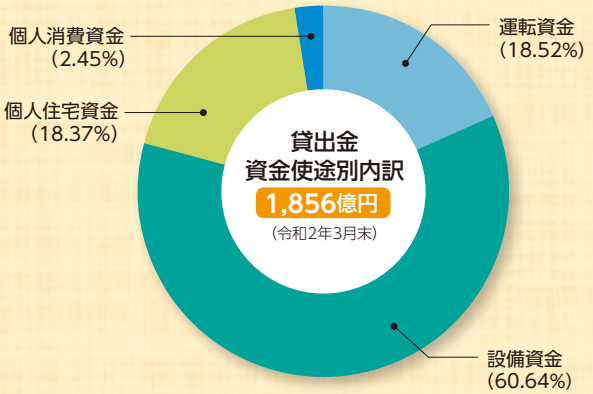
また、経営課題の解決に向けた提案等のコンサルティング機能を発揮し、地域金融の円滑化に全力で取り組んでいます。

資金需要や貸出条件変更等の相談については、お客さまが直面している課題を十分に把握した上で、その解決に向けてきめ細かな対応をとっています。

地域・お客さまの課題解決に向けて

当金庫は平成27年度に策定した長期経営戦略ビジョン「お客さまとのFace to Faceによるリレーションを強化し、身近な相談相手として寄り添える地域になくてはならない金融機関を目指す」のもとで、平成30年度から新たな中期経営計画に取り組んでいます。「Action! 徹底的に『重点地区政策』する。」を戦略目標に掲げ、当金庫本支店周辺地区の全てのお客さまの全ての課題を、あらゆるアドバイス・商品・サービスを総動員して、感謝される水準で解決することに取り組んでまいります。





創業・新事業支援への取組み

当金庫は、初めて起業される方や新事業展開を計画する事業者への支援を積極的に行っています。

また、創業支援・ベンチャー企業支援・経営革新推進などの分野において外部機関との連携を一層強化し、具体的に取り組んでいます。

- 令和１年度の創業・新事業支援融資の実行件数は52件、実行金額は３億16百万円となりました。

  当金庫は、創業期の取引先を継続して支援するため、「しょうわ創業応援団」と名付けた活動に平成29年７月から取り組んでいます。毎月の定期訪問を通して、事業の状況を適切に把握し、お客さまとの相互理解を深め、当金庫が“お客さまの一番の理解者・相談相手”として事業運営や経営に必要とする適切な支援を行うものです。外部機関と連携したセミナーなどによる情報提供や、当金庫で行うビジネスマッチング、食品事業者向けの物産展への優先案内を行っています。

- 当金庫をはじめとする世田谷区の８団体が参画した産業競争力強化法に基づく創業支援等事業計画が平成30年８月に国から認定され、当金庫は事業計画策定などの個別支援を実施し、創業を支援しています。

  創業を目指す方々は、当支援事業を受けて一定の条件を満たせば創業融資の拡充や税の優遇措置が受けられます。

- 当金庫は、中小企業・小規模事業者が生産性や経営力向上に資する革新的サービス開発・試作品開発・生産プロセスの改善を行うための設備投資等を支援する「(通称)ものづくり補助金」制度により、認定支援機関*として取引先企業の補助事業計画書の作成・申請支援を行っています。採択数は令和１年度で６件、平成25年度からの累計で51件となりました。

＊経営革新等支援機関（認定支援機関）：中小企業・小規模事業者が安心して経営相談等を受けられるように、専門知識や、実務経験が一定レベル以上の者に対し、国が認定する公的な支援機関

昭和信用金庫「サポートプラザ」下北沢駅前にオープン

当金庫は、下北沢駅前に完成した「シモキタフロント」ビル1階に、ATMコーナーと相談コーナーを併設した「サポートプラザ」を令和2年1月14日にオープンしました。

相談コーナーでは、事業をはじめ、年金・保険など、さまざまな内容をゆっくりとご相談できます。

現在は、新型コロナウイルス感染症対応「経営相談窓口」を開設しています。今後は、地域の商店街や公共団体による各種イベントや相談会も開催予定です。ぜひご活用ください。

〈営 業 日〉月～土曜日
〈時　　間〉9:30～17:00 予約可能（最終受付16:00）
〈場　　所〉東京都世田谷区北沢2-24-5
（下北沢駅東口から徒歩1分）
〈申込方法〉昭和信用金庫営業推進部までお電話ください。
0120-872-315
[予約受付時間／平日9:00～17:00]
〈A T M〉平日7:00～20:00　土日祝9:00～17:00

お客さまの経営課題解決の支援

経営改善支援

当金庫は、取引先企業の業績向上、経営安定化および事業継続に寄与することを目的に、本部と営業店が連携して経営改善支援活動に取り組んでいます。令和１年度は13グループ、25社の経営改善を支援しました。

事業承継支援

後継者不在が課題の取引先企業に向けて、当金庫はM&A（企業の合併・買収）の仲介や、必要な資金の支援を行っています。M&Aの仲介では、従業員の雇用維持や地域社会への貢献などを行うために、事業継続を望みながらも経営者の高齢化と後継者の不在が課題となっている企業等と、事業領域の拡大と経験豊富な人材の確保などの希望がある企業とのマッチングを行っています。

新現役交流会

高度で専門的な知識や豊富な経験と人脈をもつ新現役人材（企業OB）と企業経営者が一堂に会して、販路開拓や海外展開の支援、人材・後継者の育成など企業が抱えるさまざまな経営課題の解決を図るために、新現役交流会を開催しています。

今年度で８回目を迎えた当交流会は当金庫、関東経済産業局および東京都信用金庫協会の共催により、取引先企業10社と新現役人材45名が参加して、令和１年６月６日に開催しました。取引先企業と新現役のマッチングが９件（マッチング率90％）成立しました。

専門家派遣事業

売上拡大や販路開拓、経営改善など、中小企業・個人事業者のさまざまな経営課題の解決を図ることを目的に、当金庫では、中小企業庁が運営する企業支援の経験豊富な専門家が無料で助言・支援を行う「ミラサポ専門家派遣制度」を活用し、令和１年度は延べ24社の取引先に派遣しています。

緊急経営相談会

新型コロナウイルス感染症により経営に影響を受けた取引先企業の課題解決を図ることを目的に「緊急経営相談会」を実施しました。令和２年３月12日と26日の計２回、東京都よろず支援拠点、東京商工会議所ビジネスサポートデスク（東京西）の協力により開催した相談会では、当金庫の取引先15社が参加し、新たな販路の確保、助成金・補助金の活用方法など、さまざまな経営課題の相談が寄せられました。

各種セミナー

創業フォローアップセミナー

創業3年以内の事業者および創業希望者等を対象に、「～失敗事例から学ぶ～創業後、事業を軌道に乗せる! ビジネスモデルの“見直し方”」と題したセミナーを開催しました。令和1年7月29日に開催した本セミナーでは、企業の失敗や立て直しの成功などの事例を参考にビジネスモデルの考え方・見直し方を解説しました。

事業承継セミナー

全国的に喫緊の課題となっている中小企業の事業承継に対応するためのセミナーを日本政策金融公庫、東京商工会議所との共催で令和1年6月17日に開催しました。「活用しよう! 事業承継税制のポイント」と題した基調講演のほか、各機関の支援施策について紹介しました。

取引先の従業員を支援

従業員の定着と生活の安定化に寄与する制度を平成28年4月から実施しています。当金庫と取引先との間で交わされた「職域サポート契約書」に基づき、取引先の役員・従業員は融資商品の金利面の優遇や、旅行で割引などが受けられます。令和2年3月までの累計で、1,471先の取引企業に導入されています。

しょうわビジネスクラブ

「地域密着型金融」の取組みの一環として、取引先企業の発展のために当金庫は「しょうわビジネスクラブ」を、令和1年12月9日に設立しました。会員は、異業種交流会、講演会、懇親会を通じて、事業や経営情報の収集、相互の情報交換、ビジネスマッチングによる課題解決、人脈形成を図りながら、地域全体の経済発展に貢献することを目的にしています。

産学連携による地域の活性化

当金庫は、世田谷地域の活性化を図ることを目的に、駒澤大学および昭和女子大学と平成25年に産学連携協定を締結しています。地元の企業が学生の発想を経営に活かす機会や学生がビジネスを学ぶ機会を創出し、また、創業・中小企業支援、商店街の活性化、人材育成など、多岐にわたり地域の活性化に取り組んでいます。

また、平成27年に締結した東京都立産業技術高等専門学校との連携協定では、東京オリンピック・パラリンピックに向けて、人材の育成、教育支援、中小企業支援の活動を両者が連携して実施し、東京都の発展を図ることを目的にしています。

当金庫の新型コロナウイルス感染症対策について

- 当金庫は、お客さまの安全・安心を第一に、新型コロナウイルス感染拡大防止に取り組むとともに、お客さまの資金決済や事業資金のご支援など、金融サービスの提供を続けてまいります。
- 各店舗の営業時間の変更、窓口業務および営業係による訪問業務の一部縮小を行う可能性があります。また、窓口でのお取引については、通常以上にお待ちいただくこともあります。最新の状況については、当金庫ホームページをご確認ください。
- お振込みや現金の入出金は、お近くのATM(注)でもお取扱いが可能です。また、お振込みや資金移動はインターネットバンキングのご利用もご検討ください。

(注)ATMでは10万円を超える現金でのお振込みはお取扱いできません。

- 各営業店およびサポートプラザに「経営相談窓口」を設置しています。直接的・間接的に影響を受けている、または受ける恐れのある事業者の皆さまのご融資やご返済の見直し、各種給付金・補助金などについてのご相談を随時承っております。

お客さまとともに

コンサルティング業務の強化

当金庫は、お客さまの課題解決に対応できる知識・能力の向上や新しい発想力の醸成などにより、コンサルティング機能の向上に取り組んでいます。

キャリアプランに基づく研修体系、自己啓発、OJTなどを通して職員を教育し、資格の取得を奨励しています。令和２年３月末時点で、中小企業診断士５名、社会保険労務士１名、行政書士１名、FP技能士１級１名、同２級98名、同３級107名、宅地建物取引士24名を擁し、お客さまのお役に立てるよう努めています。

各種相談業務への取組み

「お金のホームドクター」として、各店舗でローンや年金、資産活用などの相談を受け付けています。また、休日にもローン相談会や年金相談会を開催しています。

相続関連サービスを提供

当金庫は、山田エスクロー信託と業務提携して複雑な相続に関する手続きをお手伝いしています。また、全国規模で展開するNPO法人遺言・相続リーガルネットワークと業務提携し、法律面においても対応できる相続関連サービスを提供しています。

遺言・相続相談会

令和１年11月15日*に、信金中央金庫主催による「遺言・相続無料相談会」を当金庫本店で開催しました。相談会は日本弁護士会連合会との連携により行なわれ、相続に関心のあるお客さまが参加しました。

＊遺言の日：日本弁護士連合会では４月15日と11月15日を「よい遺言の日」、「いい遺言の日」としている。

老い支度講座

相続・遺言・贈与など、資産の継承への関心が高まっているなか、世田谷区社会福祉協議会開催の「老い支度講座」を平成25年から共催しています。令和１年度は、12月11日に開催しました。当日は弁護士の講演と当金庫職員による特殊詐欺の発生状況や関連税制の説明を行いました。

ビジネスマッチング

当金庫は、お客さまの販路拡大と売上の増加に貢献できるよう、お客さまへビジネスマッチングの機会を提供しています。令和１年度は２つの交流会を主催、来場者数はいずれも毎回増加しています。

ビジネスマッチング交流会'19

開催日：令和1年7月17日
場所：新宿NSビル　地下1階NSイベントホール
内容：取引先企業の販路拡大、製品・商品・サービス・技術のPR、他社・多業種との新たな連携、販売先の拡大など、ビジネスチャンス創造と創業者支援の場を提供するための交流会
主催：昭和信用金庫
共催：興産信用金庫、芝信用金庫
特別参加：東京三協信用金庫、亀有信用金庫、西京信用金庫、銚子信用金庫、富山信用金庫
出展企業・団体数：104社
来場者数：1,284名
商談件数：1,664件
成約（および成約見込み）：33（263）件

第8回TOKYO三ツ星バザール

開催日：令和1年11月6日、7日
場所：新宿駅西口広場イベントコーナー
内容：食品・非食品の事業者を中心に出展。都内地域産品の発掘・PRを行う機会を提供するための物産展
主催：昭和信用金庫
特別参加：東京三協信用金庫、亀有信用金庫、西京信用金庫、興産信用金庫、芝信用金庫、銚子信用金庫、沼津信用金庫、コザ信用金庫、興能信用金庫、一関信用金庫
出展者数：64社（65ブース）
来場者数：26,962名

当金庫の「本店・本部」が生まれ変わりました／「えびす支店」が生まれ変わります

新「本店・本部」がプレオープン（令和２年５月７日）

57年ぶりの建て替えを完了した新「本店・本部」棟は、当金庫が創業した昭和の時代を連想させる「天然木」を多く用い、シンプルなデザインとお客さまの使い勝手の良さの両立を重視しています。貸金庫は全自動式を採用し、土曜・日曜・祝日にもご利用いただけます。開口部の大型ガラスは、熱線反射（Low-E）ガラスを採用し、外部にフィンを設置することで省エネと室内環境に配慮し、CO_2削減にも取り組んでいます。

建物の耐震性能は、標準的な強度の1.25倍となっており、避難場所となる学校校舎の設計基準と同等です。なお、大ホールは、災害時には帰宅困難者等を受け入れ可能です。また、太陽光発電設備と軽油による発電機を設置し、電源喪失時に備えています。

旧「本店・本部」棟については取り壊し、跡地には３階建ての建物・駐車場を建設します。建物には、創業直後の事業者の方がオフィスとしてご利用いただけるインキュベーション施設を備えます。駐車場は、地域の賑わいを創出するための各種イベントでも活用していきます。

新「本店・本部」のグランドオープンは令和３年５月６日を予定しています。

新「本店・本部」　●令和3年5月6日グランドオープン予定

新「えびす支店」（令和２年９月オープン予定）

えびす支店は、現在の店舗の近くに新店舗を建築中です。なお、同店の上層階は、グランドオープン後の本店と同じく、創業直後の事業者の方がご利用いただけるインキュベーション施設とする予定です。

「えびす支店」　●令和2年9月新築移転オープン予定